

わたしたちの暮らしと安全をまもる 未来へつなぐ下水道



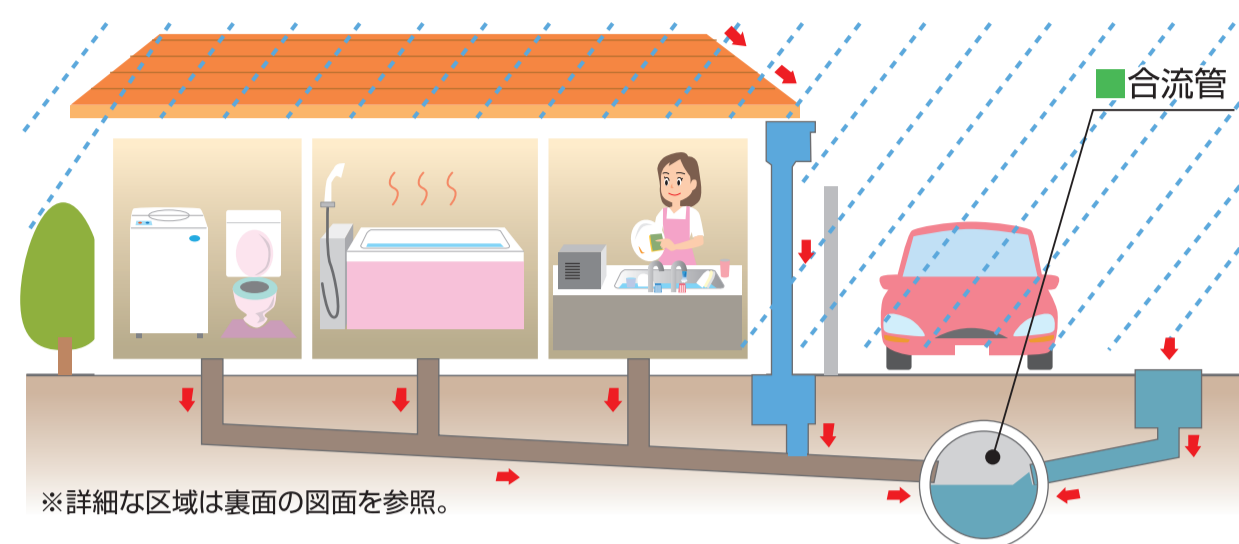
狛江駅前のデザインマンホール

狛江市

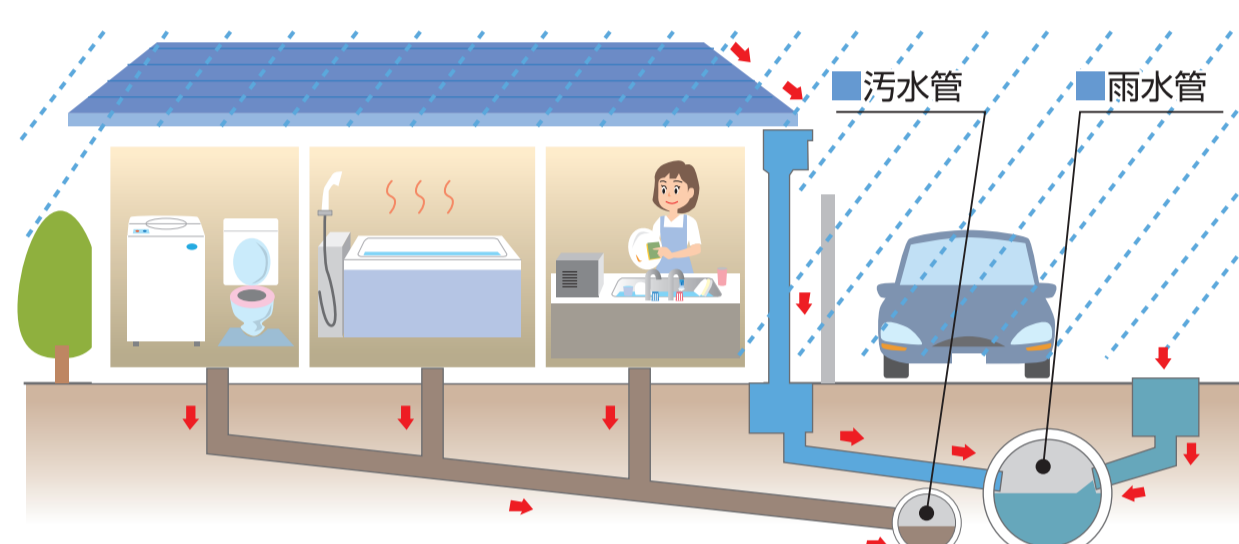
1. 狛江市下水道のしくみ

下水道のしくみには、汚水と雨水をひとつの管渠(きょ)で排除する「合流式下水道」と汚水と雨水をそれぞれ別の管渠(きょ)で排除する「分流式下水道」の2種類があります。
狛江市では、両方のしくみを採用しており、下水道計画区域のうち、約2/3が合流式下水道、約1/3が分流式下水道となっています。
わたしたちのくらしから出る汚水は、下水処理場(水再生センター)で処理することが原則ですが、「合流式下水道」では、雨天時に、汚水と雨水とあわせて一部の下水が、野川に未処理放流される場合があります。

■合流式下水道のしくみ



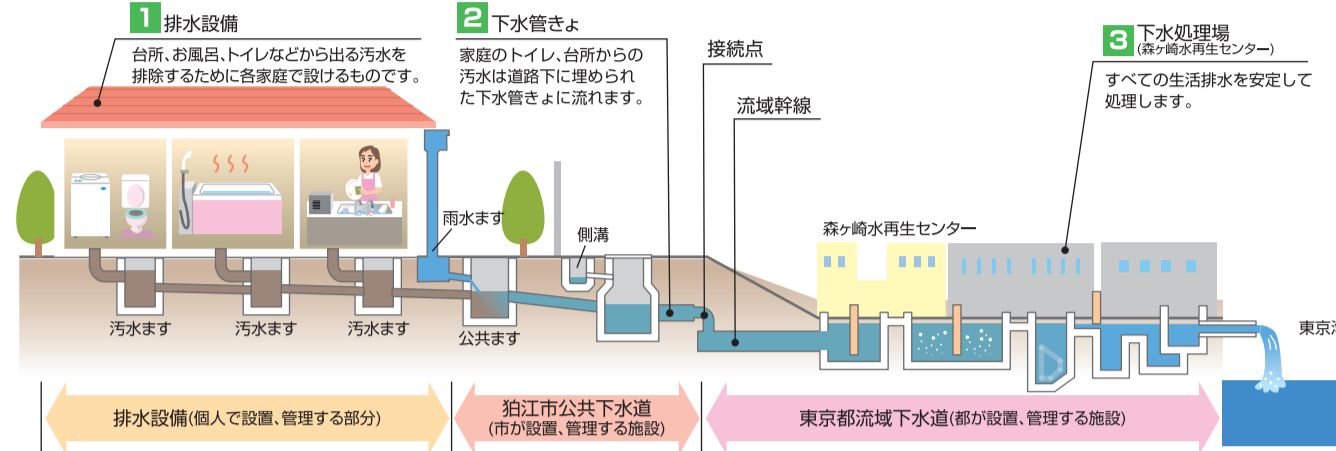
■分流式下水道のしくみ



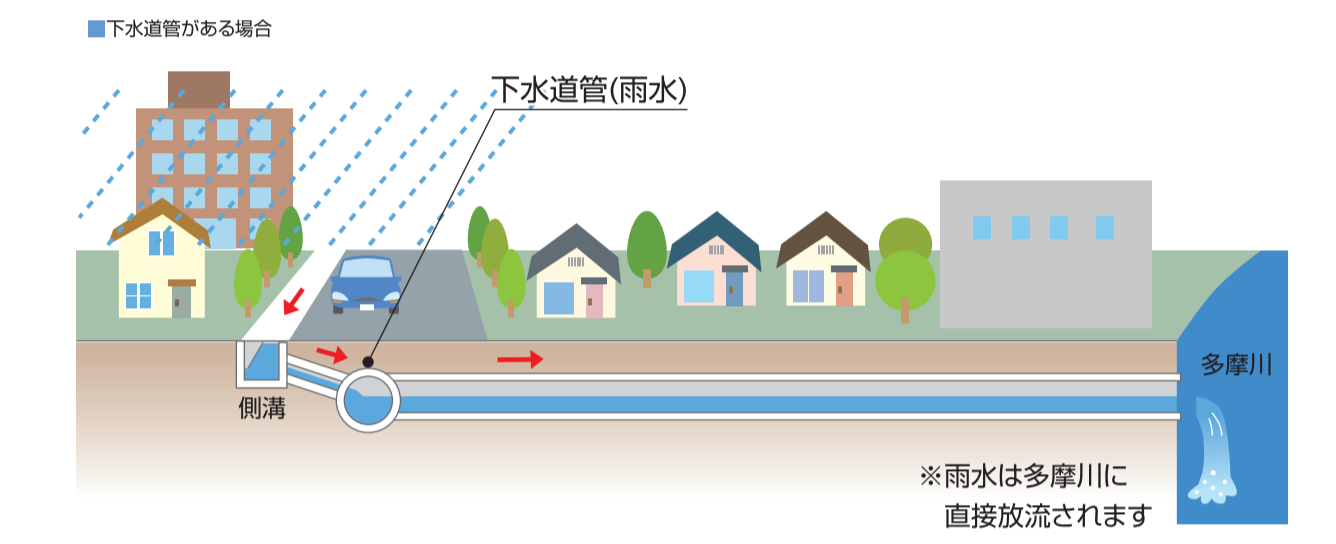
2. 下水道の目的と効果

下水道には、わたしたちのくらしに密着した目的として、汚水処理と雨水排水の2つがあります。
汚水処理では、各家庭から出される台所排水やトイレ排水等の汚水を「汚水ます」に集め、「汚水管渠(きょ)」で流し、「下水処理場(水再生センター)」できれいにして、海や河川等に戻しています。
また雨水排水では、わたしたちの身近で降った雨を「雨水ます」に集め、「雨水管渠(きょ)」で流して速やかに排除して、できるだけ浸水被害を防いでいます。

■汚水処理のながれ(合流式)



■雨水処理のながれ(分流式)



3. 狛江市下水道の概要

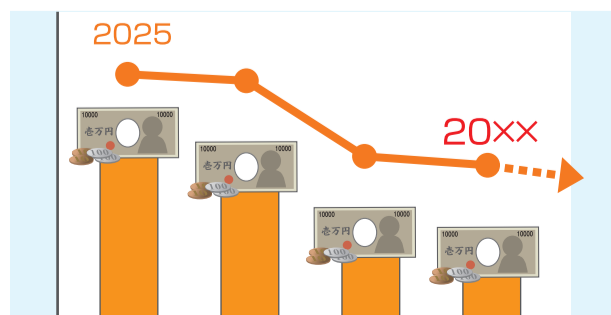
狛江市下水道の概要は、下表のとおりです。

下水道事業名	狛江市公共下水道(多摩川流域野川処理区関連) 狛江市の下水道は、複数の市町村の下水をまとめて処理する「流域下水道」に属している 野川処理区は武蔵野市・三鷹市・府中市・調布市・小金井市・狛江市で構成されており、集められた下水は最終的に大田区にある東京都の下水処理場「森ヶ崎水再生センター」で浄化され、東京湾へ放流される
区域面積	582 ha(合流式389 ha、分流式193 ha) 行政区639 haのうち、多摩川河川敷等の市街化調整区域57haを除外した市街化区域を下水道計画区域としている
事業認可年度 事業着手年度	下水道法と都市計画法の事業認可、および下水道事業としての着手 昭和44年(1969年)
管路総延長	約231km
整備率	汚水 100%(普及率100%) 雨水 約78%(ただし幹線系統は100%)
雨水放流の状況	●分流雨水放流(きょ)3箇所(いずれも多摩川に放流) うち1箇所は、世田谷区を経由して放流している ●流式下水道越流水放流(きょ)2箇所(野川と入間川に放流) うち1箇所は、世田谷区を経由して放流している
主要な施設構造物	中継ポンプ場1施設 (処理場は、東京都下水道局森ヶ崎水再生センター)

4. 狛江市下水道の課題

狛江市下水道が抱える主な課題として、次のようなものが挙げられています。

- 下水管渠の老朽化が進み、今後、改築・修繕の必要性が高まると考えられます
- 頻発する異常気象により、雨天時の浸水が報告されている所もあります
- 臭気、道路陥没等の苦情が一部寄せられています
- 合流式下水道から、雨天時に未処理下水が放流されています
- 地盤の特性をふまえて、液状化を考慮した地盤対策に取り組む必要があります
- 雨水浸透量の減少や地下水位の低下により、平常時の河川流量の減少、水辺空間の喪失等が引き起こされ、水循環の再構築が望まれます
- 将来人口の減少による使用料収入の減少が予測されます



狛江市では、こうした課題に対する施策をとりまとめた「狛江市下水道総合計画」を策定しており、今後も健全な下水道運営に考慮しつつ、計画的に施策を実施していきます。

5. わたしたちのくらしから出る汚れ

下水道では、わたしたちのくらしから出る汚水、きれいな水に戻していますが、流すものによって、汚れの度合いは様々です。
特に汚れの度合いが大きいものを流すと、下水道施設に大きな負担を与え、管渠(きょ)のつまりや下水処理場の能力の低下などの要因になります。また、側溝等に直接流すと、そのまま海や河川等の水環境の悪化にもつながります。

■もしこれだけのものを水に流したら?

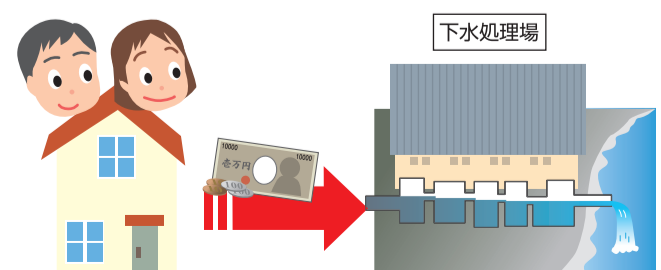
品名	量	魚が住める水質(BOD5mg/L)にするために必要な水の量は風呂おけ(300L)に何杯分?
調味料	マヨネーズ 大さじ1杯 15mL	10
	サラダ油(新しい油) 大さじ1杯 15mL	10
	天ぷら油 使った油 500mL	500 50 10
嗜好品	オレンジ100%ジュース コップ1杯 180mL	10
	牛乳 コップ1杯 180mL	13
	日本酒 コップ1杯 180mL	19
	ビール コップ1杯 180mL	8.6
調理品	みそ汁(具なし) お椀1杯 200mL	2.5
	煮物汁(肉じゃが) 100mL	3.5
	米のとぎ汁(1回目) 750mL	0.9
洗剤	シャンプー 1回分 6mL	1.6
	リンス 1回分 6mL	0.3
	台所用洗剤 1g	0.5
	洗濯用合成洗剤(液体)無りん 1g	0.4
	洗濯用合成洗剤(粉末)無りん 1回30g 5kg洗濯機	6.7

「とりもそう わたしたちのくらしを海へ」(東京都による啓発)

6. 狛江市下水道の運営

下水道の運営に係る経費は、汚水処理については、下水道を使ったみなさんからいただいた下水道使用料で、雨水排水については税金で、それぞれまかなうことが原則となっています。

このうち汚水処理については、全国的に下水道財政が逼迫している自治体が多い中、狛江市では、現在、比較的良好な財政運営が行われています。しかし、将来的な使用料収入等の財源の減少、施設の維持管理費や改築費用等の支出の増加等により、このままでは長期的に安定した収入を確保できない可能性があります。そのため、5年に1回を目途とした定期的な下水道使用料の検証を行ってまいります。



7. 健全な下水道を利用していただくために

下水道は、わたしたちのくらしに欠かせない大切なライフラインのひとつです。
狛江市下水道が抱える課題を改善し、今後引き続き、健全な下水道を利用していただくためには、利用者である市民のみならずのご理解ご協力も不可欠です。
みなさんの普段の生活の中で、できるだけ下水道にやさしいライフスタイルに心がけていただくよう、よろしくお願いいたします。

- 調理器具、食器の汚れはゴムベラで除いたり、古紙、古布等で拭き取ってから洗しましょう
- 天ぷらなどに使った油はためものにして使い切りましょう
- 洗剤は正確にはかって使いましょう
- 生ごみは水切り袋に受けましょう
ストレーナーにも水切り袋をつけましょう
- 単独ディスポーザーにより、ご家庭の排水口から生ごみを廃棄すると、その処理に大きな負担がかかるため、使用しないようにしましょう
- ごみや落ち葉は、道路側溝に落とさず、まとめてゴミ収集場に廃棄しましょう。
(側溝に落とすと雨水が詰まったり、河川が汚染の原因になります)

8. 雨水浸透ます・雨水貯留タンクを設置しましょう

雨水浸透ますや雨水貯留タンクには、雨水の流出を抑制し、地下水の確保、緑の育成・保護等の効果があります。
わたしたちの豊かな水環境の創造のために、ぜひ雨水浸透ますや雨水貯留タンクを設置しましょう。

